



はくざんコミュニティ・スクールだより



令和元年9月6日発行第4号

夏休みわくわく講座

7月22日、23日、25日の3日間、子どもたちが楽しみにしていたわくわく講座が実施されました。

いちごジャム作りや柔道では、児童が先生となり講座を進行しました。また、おはなし会では、エプロンシアターやブラックライト紙芝居など、工夫を凝らした読み聞かせがありました。朝ごはん作りでは、井戸婦人会の皆さんに教わった煮干しと昆布でだしをとった味噌汁が大好評でした。ストラップ作りや平和ポスターの制作にも熱心に取り組む子どもたちの姿がありました。体育館では、キンボールなど、年齢に関係なく楽しめるニュースポーツに興じました。今年度は、延べ289人の児童、50人以上のサポーターの皆さんが、参加しました。昨年度の延べ児童数は243人、サポーターさんの数は約40人でした。



ニュースポーツ



朝ごはん作り



キーホルダー作り



イチゴジャム作り



化学実験



ストラップ作り



平和ポスター



おはなし会



柔道講座

今日初めてイチゴジャム作りをしました。一番むすかじかたのは、あくとりです。あくがたくさんあってお玉で少しずつ取るのがむすかじかたけど、高学年の人が手伝ってくれたのであくが全部とれました。最後にパズを食べました。アイスの上にイチゴジャムをのせて食べました。とてもおいしかったです。来年もイチゴジャムを作りたいです。

わたしは朝ごはんを作ってみようと思った。おはなしは聞いてはいたけど、全て自分で作るのは初めてでした。にんじんを切ったり、食べたあとは、お皿をあらったりしました。おにぎりは、たくさんの具を入れてにぎってから切ってみると、上手に出来ていました。みんな食べてみると、おいしくて、かみばってよかったです。これからは家族のみんなによるんでもらえるように手伝いたいです。

私は、「柔道講座」の講師で前日からどうするかイメージして準備していました。当日で仮シゴおりできるか心配していたけど大成功してうれしかったです。みんな楽しそうに教えるので、できるだけ教えるのが楽しかったです。また、しっかり準備することになったことが分かりました。



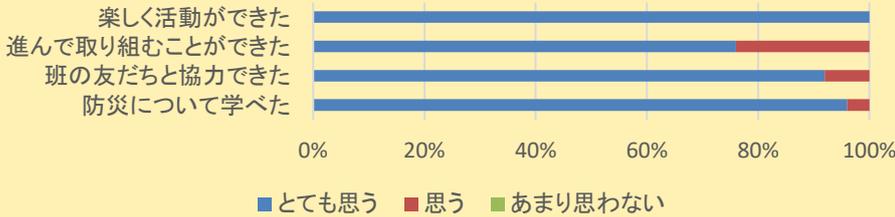
防災キャンプ



8月24日、25日に第6回防災キャンプが行われました。今年は、三木町総合運動公園（B&G）内の共同福祉施設で実施しました。1日目は、東日本大震災の復興ボランティアさんのお話をうかがったり、キャンプ恒例の三木町体育協会の皆さんと盆踊やゲームをしたり、プールで訓練をしたりしました。夕食に、婦人会の皆さん手作りのカレーを、水が使えない時を想定して牛乳パックの器でおいしくいただき、ファンタジーさんの読み聞かせの後、シャワーを浴びて就寝しました。2日目は、流しそうめんの後、太古の森まで散歩をし、三木町社会福祉協議会と合同の防災訓練を行いました。日赤の救急法指導員からAEDを使った心肺蘇生法を学んだり、防災借り物ゲームや防災〇×ゲームをしたりしました。2日間、おやじ・おふくろの会のサポーターの皆さんに支えられて、防災の知識を学び、楽しく元気に過ごすことができました。



平成31年度防災キャンプふり返り(児童)



防災キャンプに参加してみて、心に残ったのは二つあります。二目は復興ボランティアさんのお話です。今までおこた災害についてや、実際にその場でとった写真を見て想像以上に環境があれていてびっくりしたけれど、今はもどおりになつているので、復興時に人と人とのつながりがなくなつたと思つています。だから自分もつなかりをたくさん作りたいです。二つ目はプールでの訓練です。ライフジャケットを着てみると体が自然に浮いてきました。海ではせつたい着るべきだと思つきました。

今後、防災キャンプで取り組みたいこと (児童アンケートより)

- 地震などで、人がけがをした時の手当の方法。(止血の仕方など)
- 避難所で使う段ボールベッドを実際に組み立ててみる。
- 井戸婦人会の皆さんと一緒にカレー作りをする。

お世話になった方たちへ (児童感想文より)

防災キャンプの準備、そして実行ありがとうございました。ぼくは、水に浮く身近なものが命を守ること、災害ボランティアの活動と実際の避難場所で起きた問題を知り、とても勉強になりました。胸骨圧迫の仕方やAEDの使い方もやってみたら、力加減や手順が理解できました。

わたしが防災キャンプでよくにがんばったことは、チームで活動することです。チームに話したことのない友だちがいたので、がんばりました。また、六年生がやさしく教えてくれたので、わたしも六年生になつたら、みんなに声をかけてまてたいと思つきました。